

nikko am

Nikko Asset Management

日興グローイング・ベンチャーファンド

追加型投信／国内／株式

交付運用報告書

第17期（決算日2020年7月17日）

作成対象期間（2019年7月18日～2020年7月17日）

第17期末（2020年7月17日）	
基準価額	43,001円
純資産総額	15,170百万円
第17期	
騰落率	△9.9%
分配金（税込み）合計	100円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興グローイング・ベンチャーファンド」は、2020年7月17日に第17期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、高成長新興企業の株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<952354>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

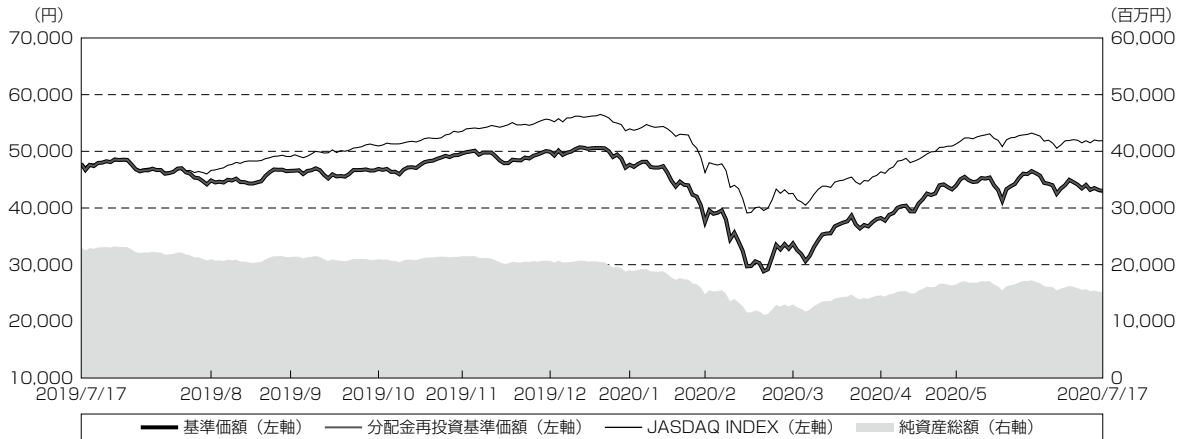
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年7月18日～2020年7月17日)



期首：47,826円
 期末：43,001円 (既払分配金(税込み)：100円)
 騰落率：△9.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびJASDAQ INDEXは、期首(2019年7月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) JASDAQ INDEXは当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、高成長新興企業の株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されて外出自粛や在宅勤務の傾向が強まってきたなかで、これを追い風とする組入れ企業の株価が比較的堅調であったこと。
- ・株式市場活性化の源泉の一つとなるIPO(新規株式公開)が2019年も引き続き活況が続き、組入れ候補企業が増加したこと。

<値下がり要因>

- ・2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から投資家のリスクオフの姿勢が急速に強まったこと。
- ・世界的にリスクオフの流れが強まるなかで、新規株式上場から間もない新興企業の株価が総じて冴えなかったこと。

1万口当たりの費用明細

(2019年7月18日～2020年7月17日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	926	2.090	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(439)	(0.990)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(439)	(0.990)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(49)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	42	0.095	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(42)	(0.095)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	2	0.004	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	970	2.189	
期中の平均基準価額は、44,319円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

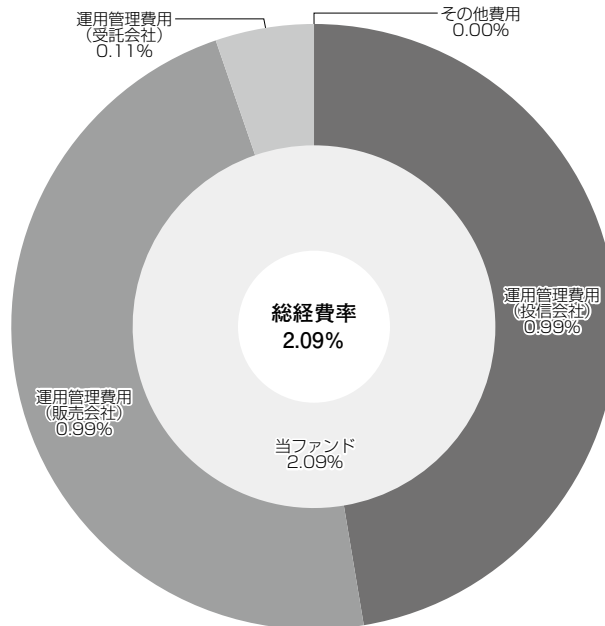
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.09%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

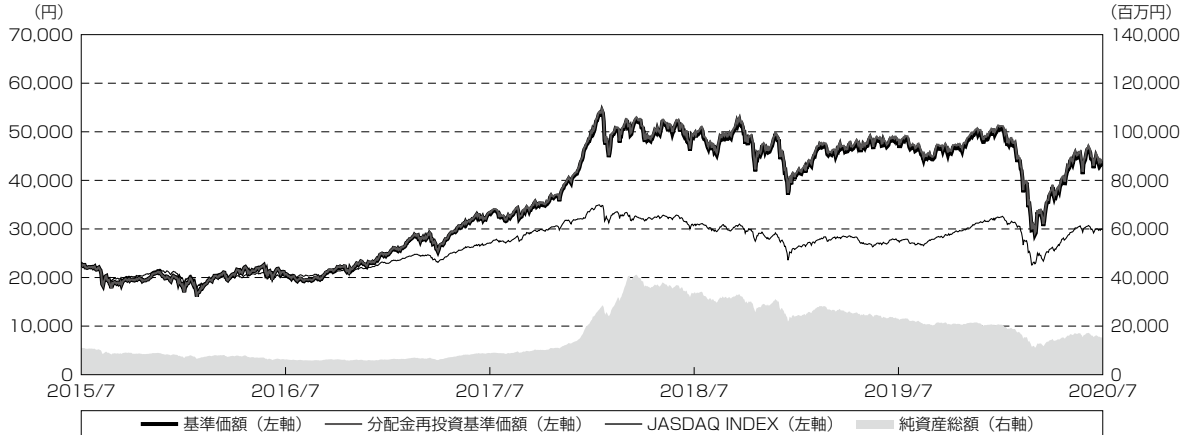
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年7月17日～2020年7月17日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびJASDAQ INDEXは、2015年7月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年7月17日 決算日	2016年7月19日 決算日	2017年7月18日 決算日	2018年7月17日 決算日	2019年7月17日 決算日	2020年7月17日 決算日
基準価額 (円)	22,297	20,538	33,129	48,876	47,826	43,001
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△7.4	61.8	47.8	△ 1.9	△9.9
JASDAQ INDEX騰落率 (%)	—	△8.3	32.3	13.5	△10.1	8.5
純資産総額 (百万円)	10,870	6,238	8,823	33,352	23,020	15,170

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) JASDAQ INDEXは当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2019年7月18日～2020年7月17日)

(株式市況)

期間中の国内株式市場は、米中通商交渉の動向を警戒して神経質なスタートとなりましたが、その後2019年9月に米中貿易協議が再開されるという報道を受けて堅調さを取り戻し、秋口には一段と上昇基調を強めました。しかし2020年に入ると新型コロナウイルスの感染拡大とその経済に対する影響を懸念して、2月から3月にかけて世界的に株式市場は急落しました。実際、4月には緊急事態宣言が発出され自粛ムードが高まりましたが、株式市場は比較的短期間で落ち着きを取り戻して4月以降反発しました。その後期間末にかけては、「コロナ後」の企業活動再開への期待と新型コロナウイルスの感染拡大第2波・第3波への懸念が交錯して神経質な展開が続きました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年7月18日～2020年7月17日)

(当ファンド)

当ファンドは、「グローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローイング・ベンチャーマザーファンド)

当期間もチーム全員参加による経営者との徹底した個別・直接面談調査を通じ、斬新な発想や製品を持ち、古い慣習を打ち破る高成長割安銘柄の約50社でポートフォリオを構築し、かつ一部の銘柄に依存し過ぎないように、分散投資を基本方針として運用を行ないました。

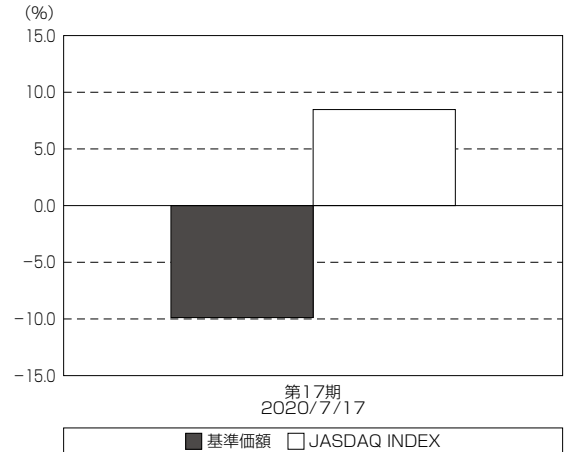
当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年7月18日～2020年7月17日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) JASDAQ INDEXは当ファンドの参考指数です。

分配金

(2019年7月18日～2020年7月17日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第17期
	2019年7月18日～ 2020年7月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 0.232%
当期の収益	—
当期の収益以外	100
翌期繰越分配対象額	33,000

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローイング・ベンチャーマザーファンド)

現在もWeb会議などを活用しながら従来と同じペースで個別・直接面談調査を実施しています。その中では「IR（投資家向け情報発信）の面談数が半数以下に減っている」という話も伺っていますので、こうした環境下でもしっかりとした調査を継続することこそが、今後の運用成果のさらなる向上につながるものと考えています。

現在、私たちの生活環境は大きく変わろうとしています。こうした変化は新たな技術やサービスが生まれる好機になっており、これに機動的に対応できる企業には大きな成長機会が訪れると考えられます。引き続き積極的な調査活動を続けながら、こうした魅力的な高成長企業を発掘し続けていきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

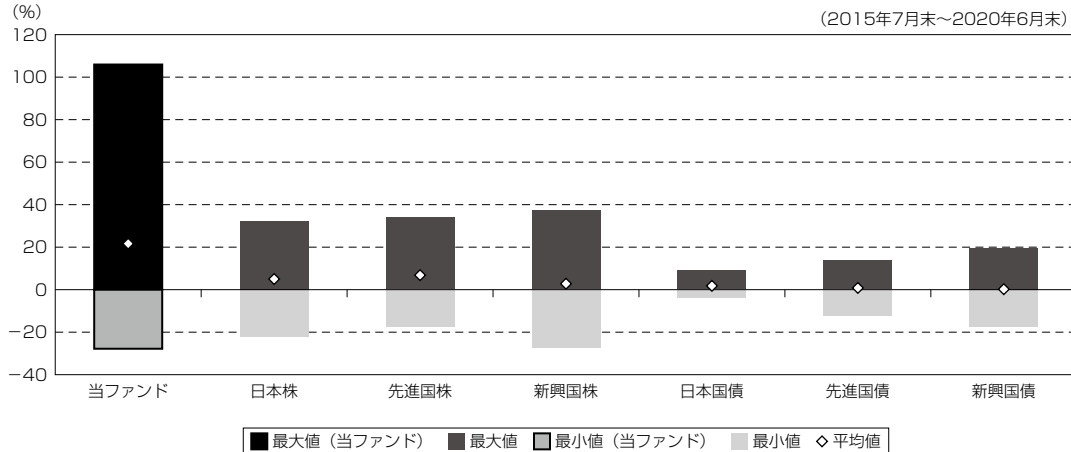
2019年7月18日から2020年7月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2003年7月18日から2023年7月18日までです。	
運用方針	主として「グローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券に投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざします。	
主要投資対象	日興グローイング・ベンチャーファンド	「グローイング・ベンチャーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローイング・ベンチャーマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、公開後5年以内のわが国の金融商品取引所上場株式の中から、革新的な高成長新興企業（＝グローイング・ベンチャー）に実質的な投資を行ないます。銘柄選定にあたっては、ボトム・アップ・アプローチを基本とし、収益性、成長性、革新性に加えて安全性、株価水準などを総合的に勘案し、投資企業を決定します。組入銘柄の見直しは、随時行ないます。なお、未上場株式に投資を行なう場合があります。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	105.9	32.2	34.1	37.2	9.3	14.0	19.3
最小値	△27.8	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	21.7	5.0	6.8	2.8	1.8	0.8	0.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年7月から2020年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2020年7月17日現在)

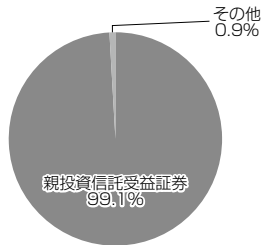
○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末
グローイング・ベンチャーマザーファンド	99.1%
組入銘柄数	1銘柄

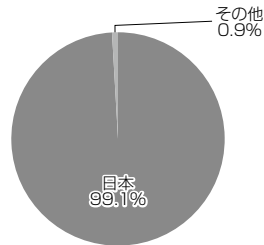
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

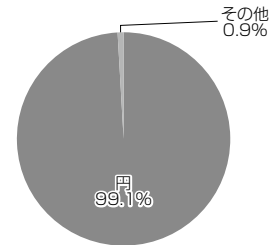
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第17期末
	2020年7月17日
純資産総額	15,170,211,162円
受益権総口数	3,527,888,469口
1万口当たり基準価額	43,001円

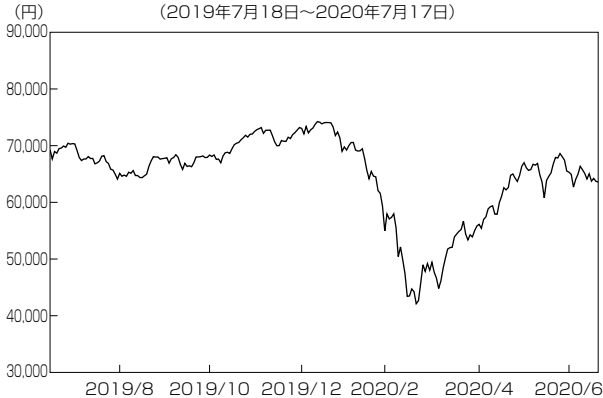
(注) 期中における追加設定元本額は594,094,831円、同解約元本額は1,879,535,101円です。

組入上位ファンドの概要

グローイング・ベンチャーマザーファンド

【基準価額の推移】

(2019年7月18日～2020年7月17日)



【1万口当たりの費用明細】

(2019年7月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	62 (62)	0.095 (0.095)
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	62	0.095

期中の平均基準価額は、64,778円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2020年7月17日現在)

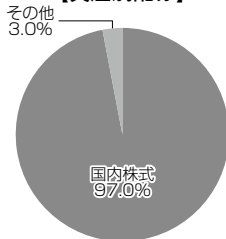
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	マクアケ	情報・通信業	円	日本	4.1
2	インソース	サービス業	円	日本	3.9
3	プロレド・パートナーズ	サービス業	円	日本	3.8
4	ジャパンエレベーターサービスホールディングス	サービス業	円	日本	3.8
5	アセンテック	卸売業	円	日本	3.6
6	デジタル・インフォメーション・テクノロジー	情報・通信業	円	日本	3.5
7	カナミックネットワーク	情報・通信業	円	日本	3.3
8	マネジメントソリューションズ	サービス業	円	日本	3.2
9	イントラスト	その他金融業	円	日本	3.2
10	システムサポート	情報・通信業	円	日本	2.8
	組入銘柄数			54銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

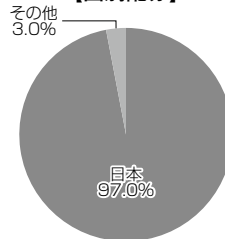
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

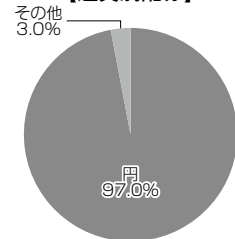
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。